

岩本ゼミナール機関誌

第5号

2000年度版

京都大学経済学部

岩本武和研究室

# 岩本ゼミ機関誌 第5号 (2000年度版)

## 目次

|  |      |     |
|--|------|-----|
| 1. はじめに                                    | 岩本武和 | 4   |
| 2. ゼミ単位取得論文                                |      |     |
| ナスダック・ジャパンと日本証券業界の展望                       | 丸山洋平 | 7   |
| 情報の経済学と産業組織論の新展開<br>～クールノー型情報ゲームによる産業組織分析～ | 遠藤量太 | 33  |
| プルーデンス政策の変遷と今後                             | 野田果生 | 51  |
| 文化政策の理論と現実<br>～わが国の文化政策を中心に～               | 松下朋弘 | 65  |
| 3. 2, 3回生年間活動報告                            | 藤中康生 | 86  |
| 4. 2, 3回生インゼミ報告                            |      |     |
| V S 高崎経済大学・矢野ゼミ、ディベート                      | 藤中康生 | 90  |
| V S 関西学院大学・鈴木ゼミ、ディベート                      | 酒井浩子 | 95  |
| 大阪大学・阿部ゼミ、勉強会                              | 藤中智章 | 98  |
| 4 大学合同勉強会                                  | 藤中康生 | 102 |

## 5. 特別寄稿

|                                  |       |     |
|----------------------------------|-------|-----|
| 「21世紀型金融危機」をいかに阻止するか             | 岩本武和  | 108 |
| 朝鮮戦争後のアメリカの対日援助<br>～MSA550条を中心に～ | 柴田茂紀  | 115 |
| グローバリズムと多国間投資協定                  | 田中珠雅紫 | 133 |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 6. 先輩からの卒業生へのメッセージ | 164 |
|--------------------|-----|

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 7. 99年度岩本ゼミ決算報告 | 172 |
|-----------------|-----|

|          |     |
|----------|-----|
| 8. OBの方へ | 173 |
|----------|-----|

|         |     |
|---------|-----|
| 9. 編集後記 | 174 |
|---------|-----|

別紙 2000年度岩本ゼミ名簿

## OBの方へ

6期生 丸山洋平

### ●寄付金のお願い

2000年度も、多くのOBの方から寄付金をいただきありがとうございました。現役生を代表して、お礼申し上げます。今年度も新ゼミ生が8人入り、ますます寄付金が必要となります。この機関誌の発行やインゼミの開催のための寄付金を2001年度もおねがいしたいと思っております。OBの方には、一人一口7000円の寄付をお願いいたします。できましたら、インゼミの始まる秋口までに下記の口座にお振込みをよろしくお願いいたします。

第一勧業銀行 百万遍支店 普通預金

口座番号 476-2003967

京都大学経済学部岩本ゼミナール 岩本武和 様

### ●名簿について

名簿はこれまで巻末に掲載いたしておりましたが、その年卒業する回生の新しい連絡先がわかっていた方がよいという意見がありました。新しい連絡先がわかるのは、原稿の締め切りのあとになるので、別紙とさせていただきます。ご了承ください。

## 編集後記

今年度も終わりに近づきましたが、今年もこの岩本ゼミナール機関誌第5号を無事発行することができ、ほっとしています。ゼミ長になってからというもの、青竹会をはじめ様々な仕事がありましたが、なんとかこなすことができました。ここまでこれたのも先生をはじめ、岩本ゼミの皆様のおかげであると思っています。特に藤嶋さんには、ゼミ長の仕事についていろいろアドバイスいただき感謝しております。

今年の岩本ゼミは、途中から先生がご不在という危機的状況の中、いまや岩本ゼミの中心的行事ともなったインゼミが去年に引き続き4回、無事に行なわれました。7期ゼミ長の藤中君をはじめとする3回生が、柴田さんや藤嶋さんの助けを借りながら力を合わせて非常に良くがんばっていたからこそであると思います。まさに脱帽です。

去年の9月15日には第2回の青竹会が開催されました。皆様お仕事がお忙しい中、18名ものOBの方がご参加くださいました。ありがとうございました。青竹会は、OBの皆様にとっても、現役生にとっても非常に有意義な機会であるので、これからも続いていくことを期待しています。また、青竹会の際には、多くのOBの方が寄付をなさってくださいました。この機関誌が発行できるのも、4回もインゼミができるのも皆様の寄付金のおかげです。この場をかりて、お礼を申し上げます。

来年度は先生も無事復帰されるということで、8期新ゼミ長の城山君を中心にますます岩本ゼミが発展していくことを祈っております。城山君は来年行なわれる第3回の青竹会の幹事でもありますから、ぜひがんばってもらいたいと思います。

私達6期生が無事インゼミもやり遂げることができ、無事卒業できるのも、岩本先生、TAの柴田さんや田中さん、OBの方々、また現役生の皆さんの支えがあったからこそです。6期生を代表して、厚く御礼申し上げます。また、僕をいろいろと助けてくれた6期生のみんなにも感謝しています。私達6期生のすすむ進路はそれぞれですが、岩本ゼミで培ったものを忘れずに、がんばっていきたいと思っております。

ありがとうございました。

2001年3月8日

編集委員 丸山洋平

岩本ゼミナール機関誌 第5号

2000年度版

2001年3月26日

京都大学経済学部

岩本武和研究室発行

禁無断転載